

医療・介護を通じた街づくり・人づくり・思い出づくり



永生病院	〒193-0942	東京都八王子市梶田町583-15	☎ 042 (661) 4108
南多摩病院	〒193-0832	東京都八王子市散田町3-10-1	☎ 042 (663) 0111
みなみ野病院	〒192-0916	東京都八王子市みなみ野5-30-3	☎ 042 (632) 8118
永生クリニック	〒193-0942	東京都八王子市梶田町588-17	☎ 042 (661) 7780
クリニック0 (ゼロ)	〒193-0943	東京都八王子市寺田町490	☎ 042 (666) 1556
クリニックグリーングラス	〒193-0835	東京都八王子市千人町4-12-3	☎ 042 (673) 5558

グループホーム

寿限無	〒193-0942	東京都八王子市梶田町590-4	☎ 042 (662) 6500
-----	-----------	-----------------	------------------

介護老人保健施設

イマジン	〒193-0942	東京都八王子市梶田町583-15	☎ 042 (662) 7000
マイウェイ四谷	〒160-0015	東京都新宿区大京町1-3	☎ 03 (3355) 0428
オネスティ南町田	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	☎ 042 (788) 0373

訪問看護ステーション

とんぼ	〒192-0914	東京都八王子市片倉町440-2	☎ 042 (632) 6351
めだか	〒193-0942	東京都八王子市梶田町513-13-1A	☎ 042 (661) 5080
ひばり	〒193-0835	東京都八王子市千人町2-13-8-1F	☎ 042 (649) 6917
いるか	〒192-0364	東京都八王子市南大沢1-18-11-A103	☎ 042 (659) 2213
口 笛	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	☎ 042 (706) 8810

居宅介護支援事業所

ケアプランセンター えいせい	〒193-0942	東京都八王子市梶田町583-15	☎ 042 (662) 7020
居宅介護支援事業所 片倉	〒192-0914	東京都八王子市片倉町440-2	☎ 042 (632) 6335
ケアプランセンター ぴあの	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	☎ 042 (706) 8808

八王子市高齢者あんしん相談センター

高齢者あんしん相談センター 片倉	〒192-0914	東京都八王子市片倉町440-2	☎ 042 (632) 6331
高齢者あんしん相談センター 寺田	〒193-0943	東京都八王子市寺田町137-1	☎ 042 (673) 6425

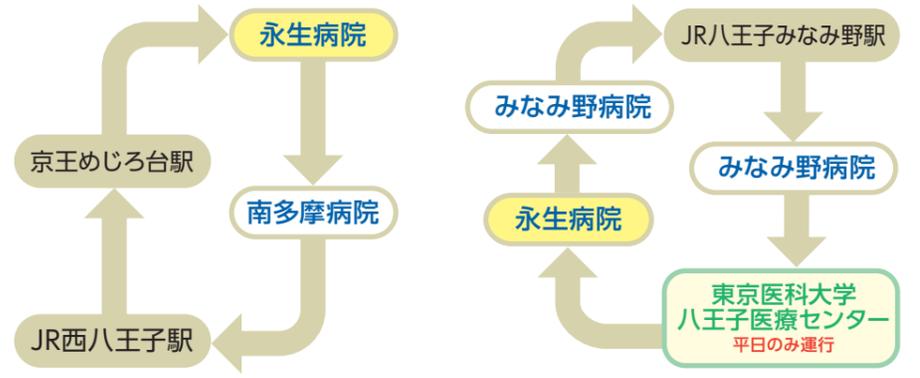
病児保育室

はる	〒193-0832	東京都八王子市散田町3-8-10 アーデルKSハイム1F	☎ 042 (663) 0111 (南多摩病院 代表)
----	-----------	---------------------------------	--------------------------------

訪問介護

在宅総合支援サービス (有) 十字会ケアステーション	〒193-0833	東京都八王子市めじろ台1-9-1	☎ 0120-537-0800
-------------------------------	-----------	------------------	-----------------

**シャトルバス運行中!!**  永生会ではシャトルバスを運行しております。ぜひ、ご利用ください。



通信 **eisei** つうしんえいせい

**83**  
2020年6月 発行



Contents

- 永生病院 脳神経内科

# 永生病院 脳神経内科



原山 尋実

黒田 昌寿

多田 宜正

久保 紳一郎

吉野 和子

加塩 信行

中村 謙

清水 和敬

脳神経内科とは脳、脊髄、末梢神経、筋肉の疾患を内科的に診断治療する診療科です。対象疾患は、頭痛、めまい、しびれなどの一般的な疾患や、脳血管疾患、パーキンソン病などの神経変性疾患、多発性硬化症など免疫性疾患、ギラン・バレー症候群などの末梢神経疾患、筋ジストロフィー、認知症、てんかんと多岐にわたります。この分野の進歩は著しく、日々新たな知見がありますが、まだ未知の部分が多く、奥が深い分野と言えます。永生病院・クリニックでは8名の医師が内科病棟、地域包括ケア病棟、回復リハビリテーション病棟、療養病棟、身体合併症精神科病棟、訪問診療、外来など、救急から在宅まで各領域で専門性を生かしながら診療を行っています。また、8名全員が日本神経内科学会神経内科専門医、うち3名が指導医であり日本内科学会総合内科専門医も4名います。

2019年新たにパーキンソン病のスペシャリストである久保紳一郎先生が加わり、久保先生主導でパーキンソン病の最新治療法である※L-ドパ持続注入療法を開始しています。一同、これからも専門性を生かしながら皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。



加塩医師は6月にクリニックグリーンガラスの院長に就任しましたが、永生クリニックでの外来は従来通りおこないます。



久保 紳一郎

これまでは順天堂大学で脳神経内科専門医として、年間約2,500人の再診外来患者さま、700人の初診外来患者さまの専門診療を行ってきました。また年間約1,000人の入院患者さまについては、入院後すぐに診療方針を検討するために、全症例について毎朝のカンファレンスを行い、診断、治療の難しい患者さまについては、症例検討会にて文献的考察を加え、疾患概念、病態、診断、治療において世界最先端の知見を収集し、患者さまの診療に役立てるよう努めてきました。

専門分野はパーキンソン病です。パーキンソン病はアルツハイマー病に次いで多い神経変性疾患で、人口10万人あたり約120人、65歳以上の有病率は1-2%にも及びます。治療法の進歩とともに寿命はほぼ一般人口と同等にまで延びていますが、生活の質という観点からはまだ満足のものとは言いがたく、また介護が必要になることも稀ではありません。加齢が危険因子の一つであることから超高齢社会に伴いさらに増加すると考えられますが、若年層人口の減少や核家族化が進み、社会的にも大きな問題となっています。早期の正確な診断が、的確な治療法選択のみならず、患者さまおよび介護者が人生設計をするための予後推定にも極めて重要であることを心にとめ、個々の患者さまの社会的背景にあった治療方針を立てながら診療にあたっています。

今後も一人一人の患者さまと誠実に向き合い、八王子の地域医療に貢献し、さらに症例報告、臨床研究発表、市民公開講座やメディアを通して永生病院からパーキンソン病医療の進歩につながる情報発信をしていきたいと思っています。



## ※ L-ドパ持続注入療法とは

パーキンソン病に対する薬物療法のひとつです。カセットに入ったL-ドパ製剤を、専用ポンプとチューブを使って薬剤の吸収部位である小腸に直接持続的に送り届ける治療法です。専用ポンプとチューブを用いて、小腸に直接かつ切れ目なく薬剤を投与します。そのため、安定した吸収が可能となり、L-ドパの血中濃度を一定に維持します。この治療は、胃ろうを造設することが条件となるため、限られた病院で実施されています。また、機器を用いて薬剤を投与しますので、患者さまがご自身で操作方法等を習得する必要があります。この治療を受けられるかどうかについては、主治医と十分相談し決めることが大切です。胃ろうを造る処置は服薬と比べてリスクを伴いますので、この点についても現在の病状や予想される結果を主治医と十分相談する必要があります。

